

商人の現場力、未来を創る

伊藤忠商事 ⑧

挑戦する企業



伊藤忠リーテイルリンク（IRL、東京都中央区）は、伊藤忠商事グループの中でも異色の存在だ。原料や素材を扱うエネルギー・化学品カンパニーの中で、一般消費者に近い事業現場を歩んできた。「変わった生い立ちの会社だ」。IRL社長の中嶋政文はこう説明する。

しぶとく生きる

IRLの前身は、家庭観賞用ビデオの卸売販売

日用品卸売で存在感

を手がけた会社だ。伊藤忠の化学品部門とカルチユア・コンビニエンス・クラブ（CCC）が1991年に設立。新たな分野としてプラスチックの塊でもあるビデオテープに着目し、立ち上がった。伊藤忠が強みとする現場力を踏まえ、IRLが「しぶとく生き残るのは伊藤忠のDNAだ」と力を込める。

ブランド育成

現在、IRLはコンビニエンスストアやスーパー、IRLは小売業界と

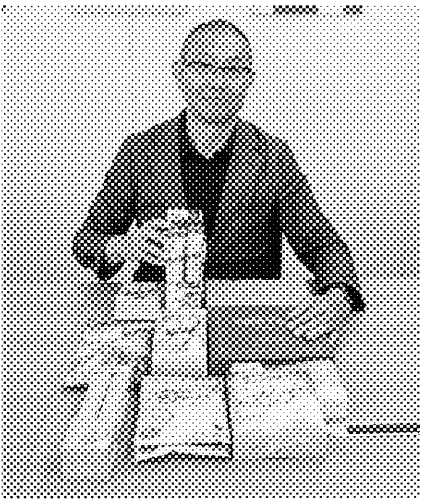
「川下」起点で商機拡大

単に小売店に商品を卸すだけでなく、消費者ニーズを踏まえて専用売り場も提案し業容を拡大していった。1990年代後半の映画「もののけ姫」や「タイタニック」がブームだった時代に、店舗への供給が追い

のつながりを生かし、店舗資材などを供給する事業へと軸足を移した。消費者向けビジネスに挑戦し大きく羽ばたいた後、紆余（うよ）曲折を経てプラスチック関連資材という原点に戻るたくましさを見せる。中嶋は

だ。その象徴的な商品としてレジ袋の「ズレ」がある。一般的なレジ袋は口が開きにくいという不満があった。IRLは袋の端をずらすことで簡単に開けられる構造を考案。不良品とされていたズレを逆転の発想で開発した。すでに導入の動きが始まっている。

（敬称略）



IRL社長の中嶋とIRLの商品群